

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府守口市大日町1-3-7
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大宝工業株式会社 代表取締役 初田 勝俊

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項
第25条第4項の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	大宝工業株式会社 代表取締役 初田 勝俊
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府守口市大日町1-3-7

1 事業者の概要

事業所の名称	大宝工業株式会社 関西カンパニー 湖南工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市石部口3-5-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	3	1	(産業分類・細分類名称を記載) 電気機械器具用プラスチック製品製造業
事業の概要	電気機械器具用プラスチック製品の製造					
従業員の数	210	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	台	照明設備 100 台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	台	その他 射出成形機15台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	3	年度	報告対象年度	5	年度
	終了年度	7	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

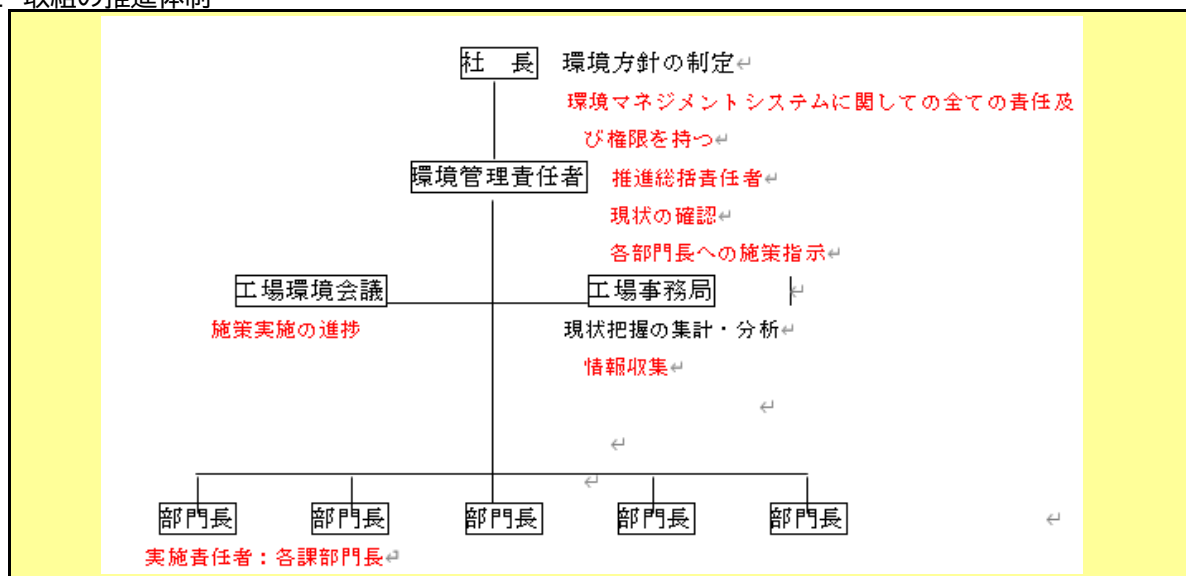
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大宝工業株式会社関西カンパニー湖南工場は、エネルギー消費・廃棄物処理等、環境影響を与える可
有しているため、環境との調和を経営の最重点課題の一つとし先取りの地球環境保全に努め、全ての
員が英知を結集し技術的・経済的に可能な範囲で、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努め

1. ISO14001:2015の要求事項に沿った環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
2. 環境汚染予防の推進と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
3. 当社の環境側面に関係して適用を受ける法的要求事項及び、同意したその他要求事項を順守しま
4. 事業所内・外の良好な環境維持のため環境負荷改善に取り組めます。
- 環境に有益な事業活動(リサイクル材の推進)
- エネルギーの効率的使用
- 廃棄物=廃棄プラスチック等の削減
5. 環境目的・目標を設定・実行すると共に定期的にシステムを見直し、全従業員で環境管理を推進し

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的な取組みを行っている。

- 照明器の不要照明消灯による電力量削減(30%削減・水銀灯)
- 照明器の間引き及び不要照明消灯による電力量削減(10%削減・蛍光灯)
- エアーコンプレッサー配管エアー漏れ対策を実施して、電力量の削減に寄与
- ボイラーの使用状況を分析、3台あるボイラーを1台休止させてLSA重油使用量を削減
- 電気室・機械室の温度設定による換気の停止
- 電気設備の設備稼働状況に合わせた進相コンデンサの適正運転(力率調整器の導入)
- 事務用機器の不要時の電源切断及び省電力モードの利用
- 射出成形機の加熱筒に保温カバー設置、熱エネルギーの損失を防ぎ電力量削減
- プラスチック製品粉碎機の未使用時自動停止による電力量削減

これらの取組みにより、生産額を基準とした温室効果ガス(エネルギー起源CO₂)の排出量が平成27より3.8%削減している。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	小型貫流ボイラーの更新(年間20t-CO ₂ 削減)	R3～7年度	未実施
2	設備導入	射出成形機付帯設備(年間50t-CO ₂ 削減)	R3～7年度	継続実施中
3	設備導入	射出成形機を電動タイプへ更新(年間70t-CO ₂ 削減)	R3～7年度	継続実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)の取組み等により、令和2年度を基準年度とし、以下の数値達成を目指します。 原単位 = 温室効果ガス排出量 ÷ 生産額 として、原単位で年1% 原単位の考え方は次の通りです。 温室効果ガス排出量は製品のサイズ、形状に大きく影響を受けるため、産額を原単位の指標(分母)として設定しました。実績を目標値と適切に比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定については、電気のCO₂排出係数(電力原単位)は基準年度の係数に固定算定します。	令和5年度 上記取組みにより生産コスト減、エネルギー使用量の削減につながり原単位が改善されたが目標には届かなかった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,311	2,325	2185	1901		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	4,185	3,842	2,252	3,333	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	4,185	3,842	2,252	3333		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂				0		
N ₂ O	t-CO ₂				0		
HFCs	t-CO ₂				0		
PFCs	t-CO ₂				0		
SF ₆	t-CO ₂				0		
エネルギー等原単位の推移		0.4092	0.409	0.4328	0.3973		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
廃家電から取出したPP(ポリプロピレン)樹脂を回収して、金属除去・異物除去工程後当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液(天然素材)で食品衛生法の基準をクリアできる再生樹脂を生産しており、リサイクル材使用製品を生産することにより、温室効果ガス排出削減に貢献するものです。リサイクル材使用製品を社会へ供給することを通じて、低炭素社会づくりを推進しています。	R5年度も計画通りの生産実績で、計画に対してほぼ100%の生産実績を達成した。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標 リサイクル材使用可能製品のシェア向上 考え方 リサイクル樹脂の品質保証を強化するために、樹脂物性検査機器の充実、体制強化を図りまた、お客様が求める物性を持つ【オリジナルリサイクル樹脂】の開発を進めております。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価
R5年度は、品質保証体制強化のための人事も実施しており、着実に進捗できていると判断しています。

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年	(R4)年	(R5)年	(R6)年	(R7)年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	4,185	4,088	2,252	12,843		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0	0	0	0.585		
特記事項	特になし。						

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年	(R4)年	(R5)年	(R6)年	(R7)年
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0	0		
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0	0		
特記事項	購入を検討中となります。						

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	3Rの推進	廃棄物の分別、発生の抑制、再利用化の促進	R3～	予定通り実施
2	再生可能エネ ルギーの導入	太陽光発電設備の導入	R3～	未実施
3	その他	敷地内、壁面等の緑化。夏場屋根の水による 冷却	R3～	未実施

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(R3)年	(R4)年	(R5)年	(R6)年	(R7)年
保有車輛の数	台	11	11	11	12		
上記のうち 次世代自動車の数	台	11	11	11	12		
特記事項	特になし。						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				